

令和7年度
福岡市公共事業再評価等監視委員会
« 議事要旨 »

【事後評価 11件】

【事後評価】

- ① 良質な住宅・住環境の形成と住宅セーフティネットの構築 (住宅都市みどり局)
- ② 安全・安心なまちづくり【防災・安全】 (住宅都市みどり局)
- ③ 地域住宅計画 (住宅都市みどり局)
- ④ 雑餉隈駅周辺地区都市再生整備計画事業 (住宅都市みどり局)
- ⑤ 橋本駅周辺におけるまちづくり (住宅都市みどり局)
- ⑥ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](地域活性化) (港湾空港局)
- ⑦ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](防災・安全) (港湾空港局)
- ⑧ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](防災・安全)第2期 (港湾空港局)
- ⑨ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全) (港湾空港局)
- ⑩ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)第2期 (港湾空港局)
- ⑪ 博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進(防災・安全) (港湾空港局)

令和7年度 事後評価対象事業

- ① 良質な住宅・住環境の形成と住宅セーフティネットの構築
- ② 安全・安心なまちづくり【防災・安全】
- ③ 地域住宅計画

<事後評価に関すること>

(委員)

- 計画1の成果指標①及び②について、市営住宅を含め着実に取り組みを進めているが、福岡市の人口も同じペースで増加していることから、割合が伸びていないということか。

(住宅都市みどり局)

- そのとおりである。

(委員)

- 今後の福岡市の人口の推移についてはどのように見込んでいるのか。

(住宅都市みどり局)

- 令和6年度の推計になるが、福岡市の人口は2040年頃までは増加傾向の見込みとなっており、世帯数はその後も増加する見込みとなっている。

(委員)

- 計画2の住宅の耐震化の割合について、施策の影響を受けていないトレンドを除いて見ていく方がよいのではないか。また、施策による効果をより可視化するため、グラフ等の活用を検討してはどうか。

(住宅都市みどり局)

- 参考にさせていただく。

(委員)

- 成果指標の実績値が令和3年度調査となっている項目について、達成状況を改めて確認するのか。

(住宅都市みどり局)

- 引用元となる調査等が実施されるタイミングにあわせて確認していく。

(委員)

- 場合によっては、達成状況が“△”から“〇”に更新されることもあるということか。

(住宅都市みどり局)

- そのとおりである。

(委員)

- 成果指標の達成状況について、市全体ではなく、区ごとに示すことは可能か。区ごとに示した方が、市民がより身近に感じることができると思うが。

(住宅都市みどり局)

- 区ごとに供給される住宅の傾向が異なっており、目標値の設定が難しいこともある。今後の参考にさせていただく。

【結 論】

<事後評価について>

事後評価は、適切になされたと判断する。

<今後の方針について>

方針に基づき、適切に推進すること。

令和7年度 事後評価対象事業

④ 雑賀駅周辺地区都市再生整備計画事業

<事後評価に関すること>

(委員)

- 指標2について、外部要因により目標達成が難しい場合、目標値の再設定や、調査地点の見直しを実施することが望ましい。また、参考として再設定後の目標値を資料に掲載することも考えられる。

(住宅都市みどり局)

- 本計画を策定した令和2年度に別途交通量調査を実施して、今回の調査地点以外にも調査地点を設ける予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により調査ができず、過年度に実施した歩行者交通量の調査地点から本計画と関連する調査地点を抜粋し従前値としたため、評価値についても従前値と同地点で実施した。今後、次期計画の策定の際に新たな地点を追加することも含めて検討ていきたい。

(委員)

- 乗降客数は増加しているが、駅主要アクセス道路の歩行者数は増加していないということか。

(住宅都市みどり局)

- 駅主要アクセス道路の歩行者数については、スーパー・マーケットを利用する歩行者数も含まれており、指標との整合がとれていたなかった。

(委員)

- 指標3について、回答数が529となっているが、目標値としている博多区はどれくらいの回答数があったのか。

(住宅都市みどり局)

- 博多区の回答数は約15万である。今回実施したアンケート調査についても統計学的に必要な回答数は満たしている。

(委員)

- 指標2について、本計画で自転車駐車場を整備しているため、自転車の交通量も含めて調査を実施すると整備の成果を更に確認できたと思うため、今後の参考とされたい。

(住宅都市みどり局)

- 今後の参考にさせていただく。

(委員)

○ 今後の方策に記載されている公園の整備について、今後の計画を具体的に教えて欲しい。

(住宅都市みどり局)

● 本計画区域内に整備予定の寿町公園、(仮称)雑餉隈高架下公園については、現在整備中であり、令和8年度に完了する予定である。

【結 論】

<事後評価について>

事後評価は、適切になされたと判断する。

<今後の方針について>

方針に基づき、適切に推進すること。

令和7年度 事後評価対象事業

⑤ 橋本駅周辺におけるまちづくり

<事後評価に關すること>

(委員)

- 土地区画整理事業の現時点の進捗率はどの程度なのか。

(住宅都市みどり局)

- 事業の進捗率については令和6年度末時点で約 60%となっている。

(委員)

- 指標2について、対象を橋本駅から半径 500 メートル圏内とした理由は何か。

(住宅都市みどり局)

- 七隈線の駅間の距離によっては半径の設定次第で重複が生じてしまうため、橋本駅から半径 500 メートルの範囲としているものである。

(委員)

- 新型コロナウイルス感染症という外部要因により目標未達成となっているが、土地利用率 10%とした場合の目標値を試算し、資料に掲載することも考えられる。

(住宅都市みどり局)

- 今後の参考にさせていただく。

(委員)

- 指標 1 について、これまでの実績を基に推計しているが、指標2に記載の通り、今後土地利用率が上がり居住人口も増加する見込みがあるため、居住人口の増加分を考慮して推計値を補正することも、考えられる。

(住宅都市みどり局)

- 今後の参考にさせていただく。

(委員)

- 今後、福岡市橋本駅前土地区画整理組合が施行していく事業に対して、福岡市はどのように関わっていくのか。

(住宅都市みどり局)

- 土地区画整理事業法第 75 条に基づく福岡市橋本駅前土地区画整理組合からの技術援助の要請を受けており、今後は工事完了後の道路等の公共施設の引継ぎに向けて、協議の調整等を行っていく。

【結 論】

<事後評価について>

事後評価は、適切になされたと判断する。

<今後の方針について>

方針に基づき、適切に推進すること。

令和7年度 事後評価対象事業

- ⑥ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](地域活性化)
- ⑦ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](防災・安全)
- ⑧ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[重点](防災・安全)第2期
- ⑨ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)
- ⑩ 「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現(防災・安全)第2期
- ⑪ 博多港海岸における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進(防災・安全)

<事後評価に関すること>

(委員)

- 國際物流拠点の形成を今後も進めていくとのことだが、日本全体で見ても、コンテナ取扱個数が増えているため、国内の物流拠点として使っていくという考え方もあるのではないか。

(港湾空港局)

- アイランドシティみどりづくりエリアについては、国際海上コンテナを扱うコンテナターミナルを整備しており、引き続き、物流施設の立地に必要となる臨港道路の整備を行うなど、国際物流拠点の形成を進めしていく。

(委員)

- コンテナ取扱個数の将来的な目標などはあるか。

(港湾空港局)

- 港湾計画における目標値は、130万TEUであるが、近年の取扱個数は約90万TEU前後で推移しており、引き続き、博多港の機能強化を図るとともに集荷活動などを行い、目標達成に向けて取り組んでいくこととしている。

(委員)

- 和白地区における、海岸の老朽化対策はいつ完了予定か。

(港湾空港局)

- 予算の状況や現場の進捗にもよるが、令和11年度完了を予定している。

(委員)

- 指標としている「藻場共生生物の確認種数」について、現状値と評価値をどのように確認したか。

(港湾空港局)

- 現状値については、令和元年度の調査で確認できた種数となっており、評価値については、令和2年度から令和6年度まで毎年度調査を行い、各年度に新しく確認できた種数を現状値に累計したものとなっている。

(委員)

○ 未実施となっている要素事業については、今後どうするのか。

(港湾空港局)

● 今後、実施していきたいと考えている。

【結 論】

<事後評価について>

事後評価は、適切になされたと判断する。

<今後の方針について>

方針に基づき、適切に推進すること。